

出張 b-lab

12月1日(金)の5,6時間目に、キャリア教育の一環として、出張 b-lab「カタリ場」を行いました。「カタリ場」とは、勉強や部活、友達関係、進路のことなど生徒の普通の悩みについて、少し年上のスタッフが生徒と本気で語り合うキャリア学習プログラムです。今後の自分の進路を考える良い機会となりました。これからの自分の進路に向けて、考えていけると良いです。



「b-lab(ビーラボ)」とは?

主に区内の中高生が自主的な活動を通じて自らの可能性を広げ、社会性を身につけた自立した大人へ成長を目指すために設置される、区内で初めての中高生専用施設「文京区青少年プラザ」の愛称です。2015年4月からNPO法人カタリバが、運営をしています。



マネートラブル出前授業

12月8日(金)の5時間目に、「マネートラブル」に関する出前授業を行いました。くらし設計塾と文京区消費者センターから計4名の方が来てくださいました。将来、お金のトラブルに巻き込まれないように、クレジットカードの仕組みや通信販売のメリット・デメリットなどを学習しました。

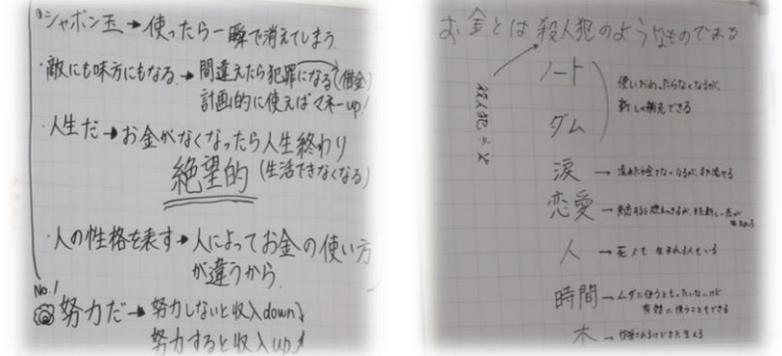
クーリング・オフ



お金とは?



そのころころは?



- ・不当な請求が来ても無視が一番だということは、不当な請求をした人には何の損害もなく、済んでしまうということだ。お金が便利な一方でそういう矛盾も引き起こしてしまう恐ろしいものなのだということがよく分かった。お金は持ち過ぎても、持たな過ぎてもダメなのだと思った。
- ・トラブルにあっちゃう度は10%未満だったけれど、将来に、ちょっと油断や知らぬ間にマネートラブルは、町などのアンケートなどにもあるかもしれないということを初めて知ってびっくりしました。このトラブルは身近にあるかもしれないということをきちんと身に付けて、トラブルにあわないようにしたいです。
- ・今日はお金に関するいろいろなトラブルの例を知りました。自分は危険度0%だったけれど、インターネットはよく使うので、気をつけたいと思いました。また、お金がどういうものかを何かに例える場面では、「お金は食べ物だ。」という意見がありました。自分の糧になるけれど、無くなってしまふからという理由でした。私は、この意見になるほどと思いました。お金が無いと生きていけないけれど、使いすぎると無くなってしまふ困るからです。私は、今日教わったことを忘れずに気を付けて、インターネットを使いたいと思いました。

いのちと心の授業

12月9日(土)2,3時間目に、いのちと心の授業を行いました。今回は、東京大学総合研究博物館の遠藤 秀紀氏に来ていただき、「解剖学が語る進化の歴史」をテーマにお話をいただきました。



1 死体は「進化の歴史」

死体を見ると進化の歴史がわかる!

2 「二度目の生涯を与える仕事」

動物の死体を集め、それを博物館に残すこと